



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

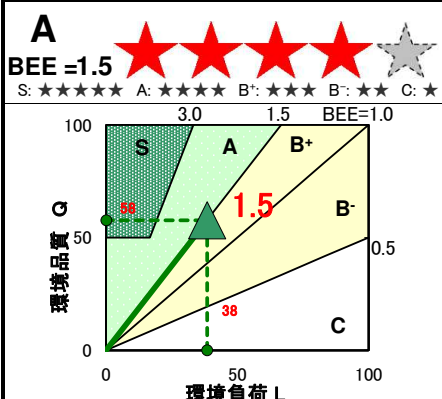
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)茶屋町計画		
建設地	北区茶屋町		
建築用途	事務所		
建築主	野村不動産(株)		
設計者	東急建設(株)		
敷地面積	338.17	m ²	
建築面積	296.65	m ²	
延床面積	2,187.33	m ²	
構造/階数	S造	/	地上8階
完了年(予定)	2023年2月		

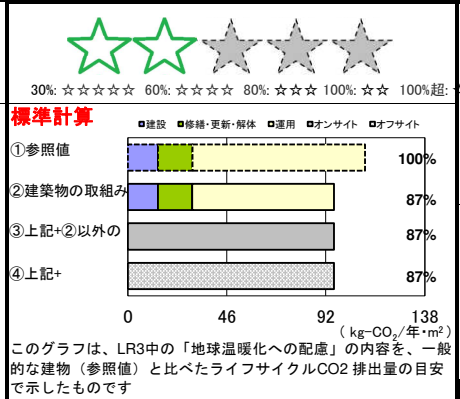
1-2 外観



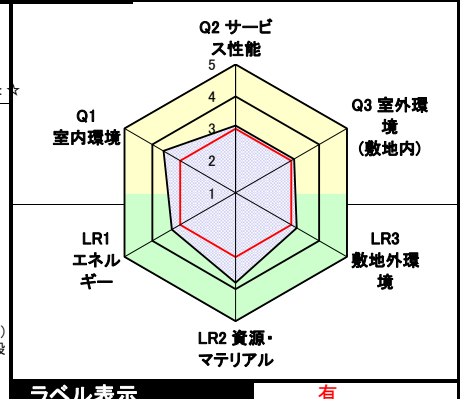
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



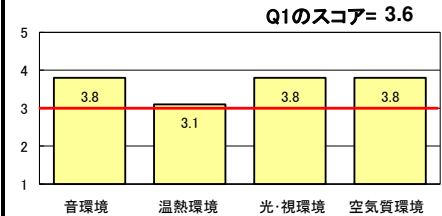
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



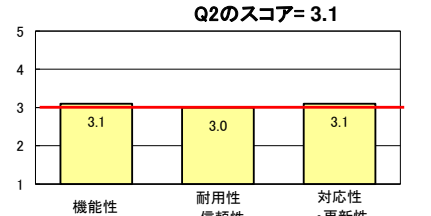
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

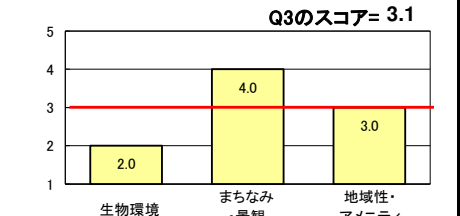
Q1 室内環境



Q2 サービス性能

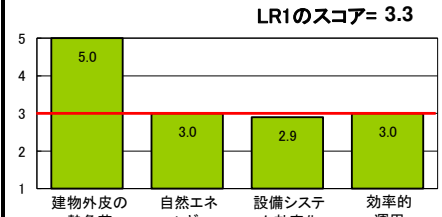


Q3 室外環境 (敷地内)

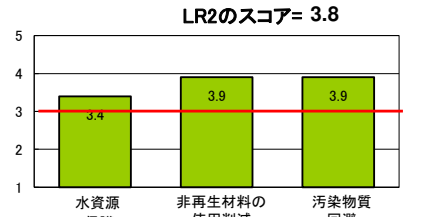


LR 環境負荷低減性

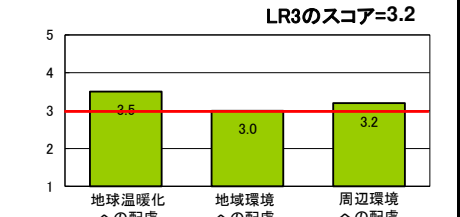
LR1 エネルギー



LR2 資源・マテリアル



LR3 敷地外環境



3 設計上の配慮事項

総合

一部木造を用いるなど自然素材を積極的に用いた環境に配慮した建築である。

その他

Q1 室内環境

建具の遮音等級T-2
屋光率2.5%以上確保
全面的にF☆☆☆☆建材を使用かつその他VOCも少ない建材を使用

LR1 エネルギー

[BPI][BPI_m]=0.80
リサイクル材を3種以上用いている
持続可能な森林から産出された木材の使用率50%以上

Q2 サービス性能

天井高さ2.7m以上で屋外が見える窓を設置している。
執務スペースの1%以上のリフレッシュスペースを確保している。
インテリアベースで内装計画の事前検証を実施した。

LR2 資源・マテリアル

節水器具を用いている
リサイクル材を3種以上用いている

Q3 室外環境 (敷地内)

植栽による良好な景観を形成している
建物の出入口周りは死角を減らし防犯性を配慮している。

LR3 敷地外環境

LCCO₂排出率87%
光害対策がイドラインの配慮事項の過半を満足している

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.5

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮
3.5	地球温暖化への配慮、地域環境への配慮
配慮事項	LCCO2排出率75% 敷地内に待機スペースを設け周辺地域の渋滞緩和に貢献している。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出
2.0	生物環境の保全と創出
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上
3.0	まちなみ・景観への配慮、地域性・アメニティへの配慮
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善
2.0	温熱環境悪化の改善
配慮事項	沿道中心の植栽により隣地とのつながりが得られ良好な景観を形成している。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制
5.0	エネルギー
配慮事項	[BPI][BPI _m]=0.98

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化
2.9	設備システムの高効率化
配慮事項	[BEI][BEI _m]=0.69

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEI_mが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEI_mが1.0以下であること)

外皮性能 住宅部分(品確法等級) 非住宅部分[BPI][BPI_m]
 - (相当) 0.80

一次エネルギー消費量 建物全体[BEI][BEI_m] 住宅部分[BEI] 非住宅部分[BEI][BEI_m]
 0.82 - 0.82